

## 隠岐の島町地域おこし協力隊年間活動報告書（R2年度）

地域おこし協力隊 配属先 農林水産課農林振興係

氏名 酒井 亜里沙

### 1. 実施した活動の概要・状況

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隠岐の島の特産品を PR する漫画、執筆開始。 農林水産課内で回覧を回しながら、キャラクターデザイン、ストーリーの方向性を決める。</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウッドヒルへ挨拶。手軽に DIY が出来る木片を試作した。</li> <li>・藻塩米農家の村上さんの所へ挨拶。</li> <li>・漫画の著作権に関して、役場と契約書を交わす。</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大久のサツマイモ畑の苗植えを手伝う。</li> <li>・油井のアゴ出汁作りを手伝う。</li> <li>・『東方隠岐誉』のデザイン会議に参加。協力隊の活動について学ぶ。</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寿畜産の宴会に誘われる。</li> <li>・斎藤律子さんの畑を見学する。</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産品 PR 漫画『隠岐のナミと離島（しま）ごはん』公開開始。同時期、東方隠岐誉の発表で協力隊 Twitter がバズり、フォロワー数が 100→1600 人となった時だったため、第一話は 121 「いいね」 がついた。</li> <li>・JA に藻塩米の PR 企画案を提案し、興味を持ってもらう。</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隠岐もの・ことカレッジに参加。任期後漫画スタジオを立ち上げ、フリーランスで生計を立てていくためのアドバイスをもらう。</li> <li>・JA の了承を得て、『藻塩米』の企画書の作成を始める。</li> <li>・隠岐ナミ 2 話公開。</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道の不老長寿の実『ハスカップ』を隠岐で栽培出来ないか、試験栽培について情報を集める。</li> <li>・隠岐の農家 4 名のヒアリング。共通のニーズ「島内でもっと野菜を売りたい。地産地消を進めたい。」</li> <li>・隠岐ナミ 3 話公開。</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本格的な稲作ゲーム『天穂のサクナヒメ』と隠岐藻塩米のコラボを、地域振興課協力隊野一さんと企画する。ゲームクリエイターと、米農家の村上さんとのコラボ対談が決定する。</li> <li>・協力隊・担当者連絡会にて、藻塩米 PR 企画のプレゼンをする。</li> <li>・隠岐ナミ 4 話公開。</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サクナヒメのクリエイターと村上さんのオンライン対談が実施される。後日、対談内容を PDF にまとめてネットで配布。Twitter では 1000 を超える「いいね」がつき、対談を見て「藻塩米を買った」と報告するツイートがあちこちで見られた。</li> <li>・隠岐ナミ 5 話公開。</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サクナヒメ対談、役場 HP にて公開。</li> <li>・ふるさと食体験のオンラインセミナーに参加する。</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある農作物等検討委員会の準備。</li> <li>・藻塩米の企画会議、米につける特典が決まらず。</li> <li>・隠岐ナミ 6 話公開</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある農作物等検討委員会開催。</li> <li>・藻塩米企画、予定外の経費が重なる。予算を見直しする必要性あり。</li> <li>・隠岐ナミ 7 話公開</li> </ul>

## 2. 主な活動の詳細

### ●特産品 PR 漫画『隠岐のナミと離島（しま）ごはん』



### ●『天穂のサクナヒメ』 × 『隠岐藻塩米』 コラボ対談



対談相手のゲームクリエイターも藻塩米を買っていただきました



## ●藻塩米 PR 企画

詳細はまだ非公開。企画内容が固まり次第、協力隊 Twitter にて告知。

### 3. 振り返り

- 慣れない環境、コロナで生活様式が変わる中、今の自分に出来ることを精いっぱいやり切った1年だった。出会った人たち、参加した研修会や会議、何一つ無駄はなかった。おかげ様で自分ならではの藻塩米 PR 企画を思いつき、今その実現に向けて動くことが出来ている。
- 『隠岐のナミと離島（しま）ごはん』色んな方から「漫画楽しみにしているよ。」と声をかけて頂き、作者として嬉しい限りである。特に農家さんや漁師さんから応援の声を頂く。皆さんが言うには「まずは隠岐の島の名前を全国の人たちに知ってもらわないと、隠岐の特産品は売れない。漫画で隠岐の島の知名度を上げて欲しい。」とのこと。漫画でどこまでその声に応えられるかは分からないが、今後も月一ペースで漫画を更新していく。
- 農家さんのヒアリングから見えてきたニーズ。それは島外から野菜を買うのではなく、隠岐で育てられる野菜は隠岐で育て、隠岐で販売する。そういう地産地消を活発化させたいとのこと。このニーズに合わせて何か企画が出来ないか、考えて行きたい。